

編集  
発行

金沢市広岡町イ25-10（石川県薬事センター内）  
公益社団法人 石川県薬剤師会 会長 中森 慶滋

2019.8  
No.81

いしかわ

# 県薬レポート

## 目次



- 会長挨拶  
石川県薬剤師会  
会長 中森 慶滋…………… 2
- 第119回臨時総会（平成31年 3月31日）  
柏原 宏暢…………… 4
- 第120回定時総会（令和元年 6月 9日）  
及び会長表彰 柏原 宏暢…………… 4
- 石川県薬剤師会役員名簿…………… 7
- 令和元年度開局薬剤師部会の  
委員会と主な事業  
乙田 雅章…………… 7
- 第55回献血運動推進全国大会  
中森 慶滋…………… 9
- 平成30年度  
「県民啓発講座・シンポジウム」に参加して  
虎瀬 和子……………11
- 平成30年度  
「県民啓発講座：薬を安心してのむために」  
南 友美……………12
- 学会発表を目指して身近なところにある  
疑問点から調査（＝研究）を始めて  
みませんか？ 菅 幸生……………14
- 認定薬剤師研修シール問題  
吉藤 茂行……………15
- 「能登万葉の里マラソンでの惨敗」  
中森 慶滋……………16



## 石川県薬剤師会 第120回定時総会 挨拶

公益社団法人 石川県薬剤師会

会長 中 森 慶 滋

本日、ご来賓として来ていただきました谷本知事、山野市長をはじめ国会議員の先生方、また大学から、そして看護協会様から来ていただきまして、心より感謝を申し上げます。医師会と歯科医師会の会長さんは懇親会に出ていただける予定になっております。

すごい変革の時代がやってきました。キムリア、この薬なんですけれども、3,349万円という値段がつきました。来年発売されるゾルゲンスマという脊髄性筋萎縮症の薬、これ4億円ぐらいの価格だということらしいんですね。

このことは何を意味するのかというと、病気は治るということの意味します。病気が治るということはどういうことかというと、人間は死ななくなるということでもあります。



「寿命脱出速度」という言葉があります。1年を超えだすと、もういくつになっても死ななくなるという、そういう時代が来ると言われております。つまり医療はそれだけ発展しているということでもあります。

人が死ななくなった時代で、あなたはどうか生きますかという、哲学的な問いが今問われています。必要なのは、老いに対するビジョンを持たなくてはならない、こういう風に思うわけでありませぬ。

このようにどんどん変わっている世の中で、僕が「えっ」と思ったことがあります。新札が発表されるというのをこの前報道がありました。これ見て僕はびっくりしました。何を今さらと思ったわけです。なぜならば、スウェーデンではキャッシュがもうなくなってしまっていて、1.2%しか使っていないんです。韓国でも4%で、そしてカード決済が中心で、スマホ決済もある、これが世界の中の主流になっております。その中で、リトアニア、ラトビア、エストニアのバルト三国の中のエストニア。Skypeを発明したのはエストニアだそうですが、エストニアはもう電子政府ができています。全てが電子化されて、医療情報はブロックチェーンでもって完璧に保護されています。我々の処方せんも全て電子化されています。

日本では、電子処方せんの運用に向けた実証事業が取りまとめられ、本年3月に発表されました。まだ医師の先生は来られていませんが、オンライン診療が進むでしょう。我々もオンライン服薬指導が今求められるかもしれません。実際これはどうなるかわかりませぬ。成熟した社会ですから一気に進むかどうかというのは検証が必要で

しょう。しかし少なくともA I、ビッグデータ、ブロックチェーン、5 G、これらが世の中を大きく変えるそういう時代に今すでに入っています。かつての産業革命以上の変革がこの5年、10年でもたらされると言われています。



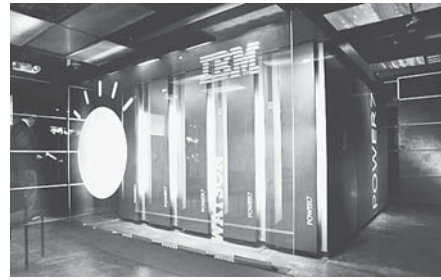
5 Gの変化はすご過ぎと言われています。何がすごいのかというと、去年の12月25日、道路交通法が改正されました。それによるとレベル3の自動運転では、スマホを見てもいいし本も読んでもいいということになりました。現在、海外に行くときは顔認証つまりFace IDでパスポートの写真照合するため係員はいなくなりました。さらに5 Gでは、電波の遅延がなくなります。そのため、ロンドン、ニューヨーク、日本で歌手のPerfumeの3人が踊りを踊るといふ、実証実験をやっております。



ニューヨーク、ロンドン、東京で同時に踊るperfume

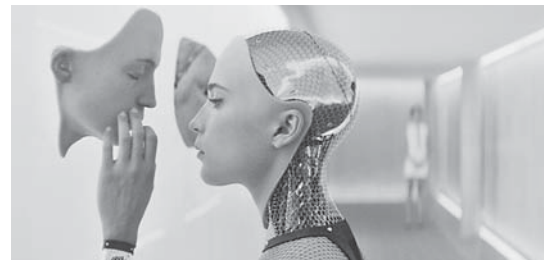
我々の医療の世界ではどうなのかというと、ニューヨークの医師が東京の患者を手術することが、遠隔手術でできるようになります。A Iを用いた診療支援ツールというものも現在動き出しているということでもあります。韓国の仁川市の嘉泉ギル病院ではI B MのWatsonを使って人工知能がんセンターというのが実際に稼働していてA Iが患者の診断を膨大なビッグデータから

行っています。



I B Mのワトソン

埼玉県では、救急車を呼ぶ前にA Iが相談してくれるという実証実験を4月と5月に行い、今それをまとめているところだそうであります。患者が状態を打ちこむことでA Iがトリアージでを行い、赤、黄色、緑、白、と分類されます。赤だったら救急車呼びましょうというふうに判断してくれます。その症状では救急車は要らないでしょうなどとA Iが当番医に行くように指示をします。看護協会の会長さんもいらっしゃっていますが、A Iをと使うと看護記録にかかる時間が半分以下になるという、そういう現実も動いています。



これは画像診断の専門雑誌なんですけれども、僕がこれ見ても難しいのでよくわからなかったんですが、1つだけわかったことがあるんですね。画像診断はA Iのほうが確実に正確だということでもあります。



では、我々の世界はどうなるのか。新聞

報道にあるようにロボット薬局というのが出てきました。ロボット薬局で、全てロボットが的確に、間違えることもなく、時間も短縮して、夜中でも稼働して薬局を動かすことができるという、そういう時代が現実になろうとしています。

このように5G、AI、ビッグデータ、ブロックチェーン、さらには医薬品のすばらしい開発能力によって世の中はどんどん変わってきます。その中で我々が今求められているのは、地域連携薬局と専門医療機関連携薬局を実現しましょうということで

あります。

きょう来ていただいたご来賓の先生方、政治の力、行政の力、大学の力、さまざまな医療機関の力でもって新しい我々のこれからの未来をつくっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 第119回 臨時総会

報告者 石川県薬剤師会 副会長 柏原 宏暢

第119回臨時総会が平成31年3月31日(日)午前10時から石川県地場産業センターにおいて、本人の出席49名、委任状による出席325名、議決権行使書による出席216名、合計590名の参加を得て開催された。宮河哲夫議長、上田和雄副議長が登壇され、まず報告事項として、平成30年度会務及び事業中間報告、そして第92回日本薬剤師会臨時総会の報告がなされ、質問及び回答があった。次いで議事として、平成30年度事業計画、平成31年度資金調達及び設備投資について説明があり、審議の結果、

賛成多数で承認された。引き続き平成31年度会費額と賦課徴収、借入限度額について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。次に公益社団法人石川県薬剤師会定款の一部改正について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。続いて公益社団法人石川県薬剤師会役員報酬等規程の一部改正について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。また、選挙規則の規定に基づいて、次期会長候補者として、中森慶滋会長が決定された。

## 第120回 定時総会

報告者 石川県薬剤師会 副会長 柏原 宏暢

第120回定時総会が令和元年6月9日(日)午後2時30分からホテル日航金沢において、本人出席63名、委任状による出席273名、議決権行使書による出席183名、合

計519名の参加を得て開催された。冒頭、平成30年度にご逝去された会員へのご冥福を祈り黙とうをささげた。続いて、石川県薬剤師会会長表彰式が執り行われた。

開会に当たり、中森会長は次のような挨拶をしました。「変革の時代がやってきました。キムリアという薬に3,349万円という値段が付きました。来年発売されるゾルゲンスマという薬は4億円ぐらいの価格だと言われています。病気が治り、人間は死ななくなるということです。そのような時代にどう生きるかと問われています。必要なのは老いに対するビジョンを持たなくてはいけないということです。また、日本では新札が発行される中、諸外国ではキャッシュレス化が進んでいます。様々なものが電子化されていきます。AI、ビッグデータ、ブロックチェーン、5Gなどにより、かつての産業革命以上の変革がこの5年10年で、もたされると言われています。医療の世界では、ニューヨークの医師が東京の患者の遠隔手術をする、救急車を呼ぶ前にAIが相談してくれる、AIが画像診断をする、そして薬局ではすべてロボットが的確に間違えることもなく、時間も短縮して、夜中でも稼働して薬局を動かすことができる時代がやってきます。そのような状況の中、新たな方向である地域連携薬局や専門医療機関連携薬局を目指して、ご来賓の先生方、政治の力、行政の力、大学の力、様々な医療関係の方々のお借りしまして、我々の今後の未来を創っていきたいと思っています。」

次に来賓の谷本正憲石川県知事、馳浩衆議院議員、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、山田修路参議院議員、山野之義金沢市長から祝辞をいただきました。引き続き来賓紹介、祝電披露がされました。

その後、宮河哲夫議長、上田和雄副議長が登壇し、議事に入りました。まず報告事項として、平成30年度会務並びに事業報告、そして平成30年度補正予算報告が一括してなされ、それに関する質問と回答が行われた。第1号議案の平成30年度計算書類

等承認に関する件について、説明後、監査報告があり、質問と回答後に、承認された。第2号議案は、本年度が役員の任期満了に当たることから、新理事の選任が行われた。議決権行使書及び会長への委任状の票数により、事実上、理事候補者全員が選任されたことになるので、投票を省略し、承認された。第3号議案の監事選任に関する件についても候補者数が定数内であることから、規程に基づき総会の議決を経て投票を行わずに承認された。第4号議案の次期の総会議長・副議長選任に関する件については、候補者がそれぞれ1人なので、規程により投票を省略して選出することが承認され、決定された。吉藤副会長による閉会のことばがあり、また、本日をもって副会長を辞するにあたり、長年にわたるご支援、ご鞭撻への感謝を述べられ、第120回定時総会が終了した。(新しい会長等の役職は、その後に行われた令和元年度第1回理事会にて決定された。)

恒例の懇親会は、中森会長の挨拶で始まった。次いで、令和元年度春の叙勲における瑞宝中綬章を受章された河島進先生、平成30年度日本薬剤師会賞を受賞された能村明文前会長の顕彰があり、花束が贈られた。また、平成30年度秋の叙勲における向孝次元副会長の旭日双光章の受章が紹介された。続いて、日本薬剤師会有功賞を受賞した田中千隼先生への伝達式が行われた。

その後、来賓の北野喜樹石川県健康福祉部長、紐野義昭石川県議会議員・石川県薬剤師連盟顧問、米澤賢司石川県議会議員から祝辞をいただいた。引き続き来賓紹介、祝電披露が行われた。安田健二石川県医師会会長による乾杯を合図に、出席者は初対面挨拶や情報交換などを通して親睦を深めながら有意義なひと時を過ごし、盛大な宴が催された。そして蓮池芳浩石川県歯科医師会長の音頭で万歳三唱が行われ終了した。



中森慶滋会長

第120回定時総会



宮河哲夫議長、上田和雄副議長



馳浩衆議院議員



受章者・受賞者の顕彰



谷本正憲県知事



安田健二医師会長



懇親会風景

## 会長表彰

総会に先立ち、総会会場にて永年にわたり石川県薬剤師会の会務及び事業の運営に尽力された7名の方々に会長から表彰状と

記念品が贈られ、その功績が称えられた。受賞者を代表して英和子先生よりお礼の挨拶と今後の決意が述べられた。

令和元年度  
石川県薬剤師会会長表彰受賞者

- |         |       |
|---------|-------|
| 加賀支部    | 宮河 憩子 |
| 小松能美支部  | 島 節子  |
| 金沢支部    | 英 和子  |
| 羽咋支部    | 久世 正良 |
| 能登北部支部  | 竹端 裕  |
| 学校薬剤師部会 | 宮脇 俊行 |
| 病院薬剤師部会 | 大屋 正宏 |



## 令和元年度 石川県薬剤師会 役員名簿

令和元年6月9日

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	中 森 慶 滋	* 理 事	野 村 政 明	顧 問	能 村 明 文
副 会 長	柏 原 宏 暢	* 理 事	金 戸 恵 子	顧 問	中 村 正 人
副 会 長	崔 吉 道	* 理 事	塩 谷 明 美	顧 問	國 嶋 崇 隆
副 会 長	橋 本 昌 子	* 理 事	吉 野 貴 大	顧 問	小 倉 勤
副 会 長	三 浦 智 子	理 事	金 田 孝 子	参 与	院 瀬 見 義 弘
副 会 長	綿 谷 敏 彦	理 事	小 林 由 明	参 与	田 中 千 隼
専務理事	澤 野 和 彦	理 事	高 林 大 輔	参 与	綿 谷 小 作
常務理事	村 田 世 里 子	* 理 事	吉 田 誠	参 与	向 孝 次
常務理事	松 田 泰 美	理 事	佐 倉 有 紀	参 与	上 田 和 雄
常務理事	西 上 潤	* 理 事	西 島 宗 和	参 与	西 尾 浩 次
常務理事	地 野 幹 子	* 理 事	笠 原 友 子	参 与	兼 田 春 生
常務理事	乙 田 雅 章	理 事	中 島 登	参 与	永 江 典 之
常務理事	今 庄 恵 子	理 事	竹 端 裕	* 参 与	吉 藤 茂 行
理 事	北 嶋 浩 成	外部監事	池 水 龍 一	議 長	宮 河 哲 夫
理 事	高 山 成 明	内部監事	森 正 昭	副 議 長	上 田 和 雄
理 事	森 戸 敏 志	内部監事	西 尾 浩 次	日 薬 代 議 員	柏 原 宏 暢
理 事	石 浦 祐 喜 子				

凡例 \* : 新規

## 令和元年度開局薬剤師部会の委員会と主な事業

開局薬剤師部会長 乙 田 雅 章

令和元年度の開局薬剤師部会では、以下の委員会を中心に事業を行う予定です。会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

- ①保健委員会：『保険（医療・介護）業務向上施策の推進』
- ②かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業委員会：『かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業』
- ③健康サポート薬局推進事業委員会：『健康サポート薬局推進事業』
- ④しっかり服薬推進事業委員会：『しっかり服薬推進事業』
- ⑤健康情報拠点事業委員会：『健康情報拠

点事業』

- ⑥スポーツファーマシスト・薬育推進事業委員会：『スポーツファーマシスト・薬育推進事業』

それぞれの委員会について今年度の予定を以下に示します。

- ①保険委員会
  - ・令和元年度10月消費税増税による医療保険の改定、令和2年度医療保険の改定についての研修会を開催
  - ・本部委員と支部委員による保健委員会を開催
- ②かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業

## 〈事業概要〉

- ・糖尿病連携手帳を利用し、薬局薬剤師が、糖尿病教育入院患者の退院時共同指導から退院後の支援体制を構築する。

## 〈研修会開催〉

- ・令和元年10月27日 開催予定

## 〈委員会（幹事会）開催〉

- ・必要に応じて開催（第1、2回実施済み）

## ③健康サポート薬局推進事業

## 〈事業概要〉

- ・健康サポート薬局に係る研修の運営  
日 時：令和元年9月8日(日)  
9時～17時（A B同日開催）  
場 所：石川県薬事センター  
「健康サポートのための多職種連携研修会」（研修会A）  
「健康サポートのための薬剤師対応研修会」（研修会B）  
かほく市の取り組みについて  
医療介護連携に活躍される方を講師にお招きします
- ・健康サポート薬局に対するサポート
- ・健康サポート薬局届出の支援
- ・健康サポート薬局のあり方などの検討
- ・健康サポート薬局の石川県民に対する啓発など
- ・健康サポート薬局が行う地域活動などの紹介

## ④しっかり服薬推進事業

## 〈事業概要〉

- ・ヘルパー・薬剤師対象の研修会の開催
- ・ヘルパーへのアンケート（薬剤師関与に関するもの。場合によっては薬剤師の同行）

## 〈研修会開催〉

- ・令和2年1月～3月予定

## 〈委員会開催〉

- ・委員会：年4回程度  
第1回は令和元年7月9日（火）に実施

## ⑤健康情報拠点事業

## 〈事業概要〉

1. 『厚生労働省 平成31年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業  
石川県 応募事業』
2. 子どもの健康支援薬局事業

## 〈事業内容1〉

- 1-① 医療機関との連携体制構築のための調査として、県内の医療機関（薬局・病院・診療所）を対象にアンケート調査を実施
- 1-② お薬服用フォローアップ事業として、モデル地区（小松市民病院院外処方応需近隣薬局対象とするモデル事業を想定）でフォローアップ事業を実施
- 1-③ これらの成果をまとめ、委員会全体で報告会実施

## 〈事業内容2〉

- 子どもの健康支援薬局事業への相談応需の報告拡大について
- ・アンケート形式で相談応需状況を把握し、症例報告を継続的に収集
  - ・昨年度作成したアドバイス集について質問事項を作成、ネットとFAX双方で収集

## 〈委員会開催〉（支部委員参加あり）

第1回：令和元年6月20日

第2回：令和元年8月29日

## ⑥スポーツファーマシスト・薬育推進事業

## 〈事業概要〉

令和元年度アンチドーピング・薬育に関する知識向上推進事業を実施する。

事業名は「スポーツファーマシスト・薬育推進事業」とする。

## ○スポーツファーマシスト・薬育推進事業

研修会（PS講座 オープン講座）

日 時：4月14日13:00～16:00

場 所：石川県地場産業振興センター本館3F第5研修室（定員153名）

講演1 「スポーツ選手の食事について」

中崎 衣美 先生 公益財団法人



人北陸体力科学研究所  
 講演2 「食品・サプリメント・医薬品  
 とドーピング」 高山 成明  
 研修会結果：参加者113名（会員50名、  
 薬剤師非会員44名、薬剤師以外19  
 名）  
 ○「ドーピング違反となる危険性」につい  
 ての講演  
 日 時：6月5日（水）13：10～14：40  
 6日（木）10：50～12：20  
 場 所：金沢学院大学 人間健康学部  
 対象者：5日スポーツ健康学科1年生  
 150名、6日スポーツ健康学科  
 2年生150名  
 演 者：高山 成明  
 講演内容：Global DRO(インターネット  
 での医薬品検索)  
<https://www.globaldro.com/JP/search>

supplement411(インターネット  
 でのサプリメント検索)  
<http://www.supplement411.org>  
 の活用方法など

○スポーツファーマシストlive on seminar  
 (日本アンチドーピング機構 主催)  
 日 時：6月28日（金）19:00～21:00  
 場 所：石川県薬剤師会会議室  
 テーマ：[国体に向けたTUE対応]  
 日 時：11月20日（水）19:00～21:00  
 場 所：石川県薬剤師会会議室  
 テーマ：[国体開催県による情報共有]  
 日 時：12月11日（水）19:00～21:00  
 場 所：石川県薬剤師会会議室  
 テーマ：[症例検証]  
 ○全日本競歩能美大会でのアンチドーピン  
 グ啓蒙活動  
 日 時：令和2年3月15日（日）  
 場 所：根上野球場

## 第55回献血運動推進全国大会

石川県薬剤師会 会長 中 森 慶 滋

第55回献血運動推進全国大会が令和元年  
 7月11日に石川県立音楽堂で開催された。  
 この献血運動推進全国大会は、広く国民各  
 層に献血制度への理解と協力を求め、献血  
 運動を全国的な国民運動として推進するこ  
 とを目的に、毎年7月に実施される「愛の  
 血液助け合い運動」の期間中（7月1日～  
 7月31日）に開催されているようだ。今年  
 は金沢で開催された。石川県においては、  
 昭和46年の開催以来、48年ぶり2回目の開  
 催である。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

献血運動、盛り上げ誓う 紀子さま迎え  
 全国大会 2019/07/11 01:46

秋篠宮妃紀子さまを迎え、金沢市の石川  
 県立音楽堂で開催され、参加者約1,500人  
 が活動の一層の盛り上げを誓い合った。紀  
 子さまは「献血に対する社会全体の理解が  
 さらに深まることを期待しております」と  
 あいさつされた。

日本赤十字社名誉副総裁を務める紀子さ  
 まは、大会に先立ち視察した県学生献血推  
 進委員会の活動内容に触れ、「熱心に取り  
 組む姿に接し、心強く思いました」と若年  
 層に協力を呼び掛ける学生の取り組みをた  
 たえた。

式典では、昭和天皇記念献血推進賞を受  
 けた富士通（東京）、同学術賞の前田義章

福岡県赤十字血液センター名誉所長、日本赤十字社金色有功章を代表して金沢工大学友会、同銀色有功章を代表して城東建設（金沢市）に表彰状を授与した。

大会は厚生労働省、日本赤十字社、県が主催した。根本匠厚労大臣のメッセージを大口善徳副大臣が代読し、大塚義治日本赤十字社社長、谷本正憲知事があいさつした。福村章県議会議長、山野之義金沢市長が歓迎の言葉を述べた。

紀子さまは大会後、金沢駅から北陸新幹線で帰京した。

7月12日 北国新聞web版より

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

木曜日の朝早々に石川県薬剤師会の事務局に行って、会長あての資料に目を通した。朝に事務局に行くことはめったにないのだが、その日僕は石川県立音楽堂で開催される全国献血大会に参加する。献血車を医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、病院協会の4団体からお金を出し合っで贈呈したため、僕も呼ばれ紀子様を前に壇上で行われる授与式に望むのだ。

県立音楽堂に着くと別途決められた入口より簡単なセキュリティーチェックを受け二階の楽屋へと通された。すでに医師会、歯科医師会、看護協会の会長さんは来られていたのでその輪の中に溶け込む。しばらくすると赤十字社の社長さんが挨拶に来られた。それから係員に案内されリハーサルを行う。ステージの裏手へと回り舞台へと移動した。県立音楽堂の裏の構造は日本薬剤師会の学術大会で二日間にわたり詰めていたので十分知り尽くしている。なんだかなつかしい感じがした。イベント会社のMさんがいたので挨拶をする。Mさんとは学術大会でとてもお世話になった方だ。

舞台では18番と書かれたテープの後ろに立った。段取りを教えられる。紀子様に挨拶するタイミングは上手にいるスタッフが手をあげたときに行ってくださいと言われる。

それにしてもとても式典の流れを理解している優秀なスタッフたちが取り仕切っているなと感心する。楽屋に再び戻り食事をする。様々な話題が飛び交う。歯科医師会の会長さんは先ごろ交代された新任の先生である。それぞれが本音で語り合いとても懇親を深めるいい機会であった。

式が始まると言われ楽屋を後にする。最初は一階の観客席で式の進行を眺めることになる。紀子様が入られてきた。薄い水色の服を着られた紀子様は優しいオーラに包まれているかのようなのである。医師会会長の安田先生の開会のごあいさつのと、知事をはじめとする来賓のご挨拶が続く。そして紀子様のご挨拶。一階の最前列の席から紀子様のご挨拶を聞いた。紀子様はその後我々一階のフロアーの特別に設けたいす席に降りてきて坐られた。

式が始まると言われ楽屋を後にする。最初は一階の観客席で式の進行を眺めることになる。紀子様が入られてきた。薄い水色の服を着られた紀子様は優しいオーラに包まれているかのようなのである。医師会会長の安田先生の開会のごあいさつのと、知事をはじめとする来賓のご挨拶が続く。そして紀子様のご挨拶。一階の最前列の席から紀子様のご挨拶を聞いた。紀子様はその後我々一階のフロアーの特別に設けたいす席に降りてきて坐られた。



秋篠宮紀子様

献血事業用車両寄贈目録の贈呈のため5人は舞台に上がった。客席の最前列には紀子様がいらっしゃる、その目の前で我々を代表して医師会会長の安田先生が巨大な車のキーを赤十字社の社長に手渡した。

県立音楽堂の舞台はこれまで何度も上がらせていただいたのだが、不思議な感覚を

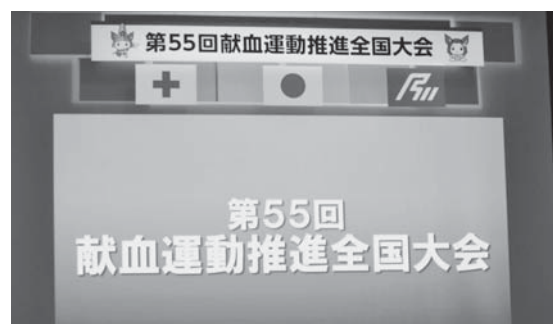
体全体でいつも感じる。舞台上上がるとそれまでとは違い観客席を全く意識することもなく緊張することもなくなる。そして光のようなものが僕を覆い守ってくれるようになる。そのため普段以上に鎮静化された精神状態になり、なんだか俳優にでもなったかのような異次元の時間が僕の中に流れるのだ。

舞台の下手から舞台裏に戻ると金沢二水高校の合唱団がそこで出番を待っていて、



みな楽しそうに、また大舞台を前にして気持ちを鼓舞するように騒いでいた。若さ溢れる合唱団の雰囲気は素敵だなと思う。

再び観客席に戻りいろんな体験発表、献血の歌、そして誓いの言葉を聞いた。紀子様のご退席されるという。紀様様が立ち上がると周りの人たちが立ち上がりお見送りに歩いて行かれた。そして我々も退席したのであった。



## 平成30年度 県民啓発講座

### シンポジウムに参加して

石川県立中央病院・薬剤部 虎瀬 和子

平成最後の「県民のための健康講座」（平成31年1月20日）にて、シンポジストとして発表の機会をいただきありがとうございます。当日の発表内容と感想を報告させていただきます。

シンポジウム冒頭では、新しくなった県立中央病院の紹介スライドとともに、病院薬剤師の仕事について説明させていただきました。「ドクターヘリも加わった救急医療」、患者さんがリラックスして診察を受けることが出来るよう工夫した「小児科外

来」や「女性専用外来」、大部屋でも個室的に使える「一般病室」、「第一種感染症病床」および「患者総合支援センター」等の写真スライドにあわせて、薬剤師業務である広い意味での薬品管理・調剤・無菌調製・服薬指導を紹介しました。「患者総合支援センター」での入院前から始まる服薬指導・術前休薬確認にも、薬手帳は重要なツールであることをアピールしました。

坂野先生からご説明された「在宅薬剤訪問」についても指導内容・残薬調整・金銭

面（ポイント面？）まで具体的に知ることが出来て有意義でした。今後も、退院時共同指導カンファレンス参加等で保険薬局と連携し、患者さんの薬歴が途絶えることがないように取り組んでいきたいと思えます。「軽い風邪を引いて、家族が昨年処方してもらい残っていた薬を飲んだが大丈夫ですか？」「インフルエンザでタミフルを飲みましたが、熱が下がった場合は中止しても良いですか？」の質問に関連して、抗菌薬適正使用（AMR：Antimicrobial Resistance）についても話す機会をいただきました。参加者の中には、薬剤耐性（AMR）という言葉をご存知の方や、抗菌薬が効くのは細菌性肺炎であると正解された方もいらっしゃいました。2016年から始めた厚生労働省の取り組みにより、少しずつ知識が普及してきていると嬉しく感じました。

薬剤耐性防止のために「私たちができること 薬剤耐性AMR防止3カ条」

1. 特定の風邪には、抗菌薬が効かないこと。
2. 不適切な薬の飲み方が原因で耐性菌を

生み出すこと。

3. 感染症にならないために、今すぐできること。

についてもスライドを用いて説明し、AMR対策アクションプランの一つ「薬剤耐性に関する知識や理解を深める」普及啓発の機会となりました。

特別講演「最期の時間の過ごし方」で長谷川先生からご説明いただいた「チェックシート」についても家族としてみました。先生のおっしゃる通り、人生の考えを話す良い機会となりました。家族共通で「無理な延命不要、痛みは嫌、食事は希望するけど世話かけちゃうかね～」という気持ちでした。

県民講座を毎年楽しみに参加されている方、この機会に薬の質問をしようと準備して来ている方が多数いらっしゃることわかりました。薬の飲み方「薬は水で飲まないといけませんか？」といった質問もありました。薬への疑問や不安を解消し、安心して薬物療法を受けるための素晴らしい講座だと感じました。

## 薬を安心してのむために 「知っていますか？クスリの正しい使い方」

金沢・健康を守る市民の会 南 友 美

大切な家族を守るために、わたしができることは何か？私にとってはタイムリーな悩みを解決することができた今回のシンポジウムでは、「抗菌薬の正しい使い方」と「地域包括ケアサービスシステム」を中心に解りやすく説明し、正しく活用することの大切さを教えていただき、参加出来たことに深く感謝致します。

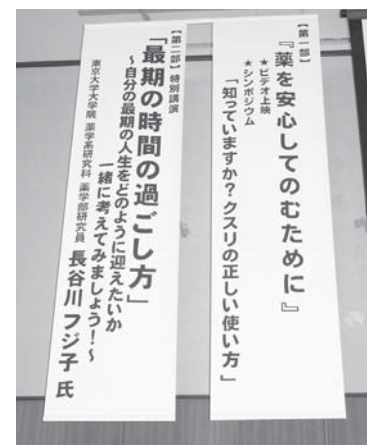
ここ数年、身内に起きた出来事で今後に備えて地域サービスの活用を真剣に考える機会がありました。4年前、家族が重篤副作用疾患である白質脳症を引き起こしました。元気だったのに急に「足のもつれ」「物忘れ」「言語障害」が出て通院していましたが、ある日危篤状態に陥り緊急搬送され病名が判りました。原因となったのは知

り合いから「クスリ」をもらい、「症状がよくなるから」の言葉を信じて安易に飲んでしまったことに因るものではないかとのことでした。実際に何をどれくらいの期間、飲んだのかも不明のまま治療が始まり、これを契機に入退院を繰り返す辛い数年を過ごすことになりました。日常で起こりうる些細な行為に思われますが、自分の薬を他人に譲る行為、何か分からず服薬する行為は大変危険であり、安全な服薬管理の大切さを知りました。現在はリハビリしながらも回復し、無事に日々を過ごしておりますが、在宅に戻ることで同じことが起こらないよう、地域包括サービスも上手に活用して見守っていきたいと思います。

お話の中では抗菌薬の取り扱いについての警鐘もありました。この冬は特に「インフルエンザ」や「風邪」が蔓延したので起こり得る一例として、期限切れの薬を服用すること、たかが風邪とか、同じ症状だから大丈夫と安易に服薬交換が行われること、症状が軽くなったからと服薬を途中で止めるとAMR（薬剤耐性）を増長することに繋がること、講座では「クスリの自己判断の危険性」に対して注意があり、専門家に相談し適切な指示に従うよう個人個人が意識することが大切だと教えていただきました。また、ケアサービスシステムがしっかりと機能しているの、自分や家族

が必要となった時は気軽に相談して、活用することが大事だと感じました。服薬ロボットやAI（人工知能）、ドローンなどを利用した開発も行われていると聞き、目からうろこの情報も満載で、このような啓発講座があると新しい情報やユニークなサービス、注意喚起を知る良い機会になります。今後も是非継続していただけると嬉しいです。

薬は食と同じくらい生活に密接しているので、「自分の健康は自分で守る」ために、薬の正しい知識を学ぶことはとても大切だと思います。また困った時には、かかりつけ薬局や地域包括サービスに相談することで、より安全で質の良い生活を送ることが出来ると思えました。短い時間でしたが、薬剤師の方々が、幅広く活躍をされていて、とても丁寧に温かい対応で県民の健康を守ってくださっていると知ることができ、このような機会が設けられたことに感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。



長谷川フジ子氏

## 学会発表を目指して身近なところにある疑問点から調査(=研究)を始めてみませんか？

金沢大学医薬保健研究域薬学系  
臨床薬学研究室 准教授 菅 幸生

昨年、第51回日本薬剤師会学術大会が金沢市で開催されました(大盛況でしたね)。その中で非常にたくさんの口頭発表・ポスター発表があり、石川県薬剤師会会員の方からも多くの発表がありました。また、私がよく参加する医療薬学会や緩和医療薬学会の年会でも薬局薬剤師からの発表が年々増えているような印象を受けます。このような流れを受けて、自分も学会等で発表をしてみたいと考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？しかし、発表をするとしても何をどのようにまとめたら良いかわからないという方もいらっしゃるかもしれません。そのような際には、ぜひ大学の教員に相談を持ちかけてみてください。実務実習の説明会や施設訪問などで大学教員と話をする機会があると思います。そのような時にぜひ声をかけてみてください。もしかすると、相談を持ちかけた大学教員は基礎系の教員(研究者)で、薬剤師業務のことは良くわからないという可能性もあります。このようなケースでは、薬剤師の業務に詳しい教員を紹介してもらうことができるはずですが、北陸大学や金沢大学だけではなく、全国すべての薬学部には、薬剤師業務や臨床現場での研究に慣れている教員が必ずいます。大学教員は、薬剤師教育を担当すると同時に研究も行っています。つまり、学会発表や論文執筆に必要な知識・経験を有していますので、これらに対して石川県薬会員の皆様を感じる疑問にお答えすることができます。始めて調査をする・学会発表をするという時には、一人で

その(茨?の)道を切り開いていくよりも、慣れた人に相談しながら進めた方が、効率的で堅実なものとなります。ぜひ、遠慮なくご相談ください。

大学教員に相談する時ですが、相談する前に大まかなもので構いませんので、調査のテーマ(対象)を考えてみてください。そこがわからないから悩んでいるという声が聞こえてきそうですが、難しく考える必要はありません。日常の業務をしながら、「あれ?これはなんでだろう?」と感じた疑問点や、「この薬を飲んでいる患者さんはみんな同じようなことを言うなあ」といった気づきなどは、非常に良い調査のテーマになります。もし、何か調査をしてみようと考えたら、このような「?」と思ったことをメモ帳などに書き留めていてください。きっと、その中から調査を行うすばらしいテーマが発見できるはずです!

最後になりますが、以下に私の連絡先を記載します。相談する大学教員が見つからない・・・(泣)という時に、お気軽にご相談ください。ここまで読んでいただき、ありがとうございます。これを機に学会発表を目指して身近なところにある疑問点から調査を始めてみませんか？

メールアドレス:

suga@staff.kanazawa-u.ac.jp

電話番号:

076-265-2831

(金沢大学薬学系臨床薬学研究室)

## 認定薬剤師研修シール問題

石川県薬剤師研修センター長 吉藤 茂行

薬剤師であれば誰でも取得できる認定薬剤師が、調剤報酬のかかりつけ薬剤師の取得要件の一つになっていることで大きな問題が起こった。本年2月ごろインターネットのオークションに、認定薬剤師取得に必要な単位である研修シールが出品され、売買されていることが発覚した。これに驚いた厚生労働省は、石川県薬剤師会をはじめ研修シールを発行しているすべての生涯学習プロバイダーに通達を出し、研修シールの取り扱いに嚴重注意を行った。

一方、出品された研修シールはすべて日本薬剤師研修センター（G01）の研修シールであったため、日本薬剤師研修センターは都道府県薬剤師会をはじめG01研修シールで研修会や学会等を実施している全国の機関に、研修会受講者の事前確認（住所や薬剤師免許番号など）と研修シール交付時の本人確認に嚴重な対応措置を要請した。

また、研修シール売買の不正が発生した原因の1つは、G01研修シールに研修会を特定できるコード番号が印字されていなかったことである。そこで日本薬剤師研修センターはこれまでのシールのデザインを大きく変更し、詳細な研修会番号を印字した。

石川県薬剤師会は薬剤師認定制度認証機構（CPC）から認証G08を取得し、県内の研修会にG08研修シールを発行しているが、シールには研修会番号が印字されているので対象の研修会を特定できる。もし研修手帳に貼付されたG08研修シールに疑義があれば当該研修会の受講者名簿を確認すればよい。厚生労働省の通達を受けて、私どもは本会の研修会実施者に受講者名簿

（受講者名は自署）の整備と余剰シールの確実な返却をお願いした。

さらに日本薬剤師研修センターは、G01認定薬剤師が更新の申請をする際、他プロバイダー発行の研修シールを研修手帳に貼付して認定単位として計上する場合は、それぞれの研修シールにシール発行元プロバイダーの「研修会受講証明書」を添付することを本年7月以降開催の研修会に義務付けた。新規認定薬剤師の申請の場合も同様である。これは、他プロバイダー発行の研修シールが信用できないということではなく、自分のところのG01認定薬剤師の受講行為を疑っているのである。

石川県薬剤師会会員の中には、日本薬剤師研修センターG01認定薬剤師が100名程度おられる。種々の研修会において本会G08研修シールも受領されているので、請求があれば受講証明書を発行するつもりである。しかし、これには手間と費用（請求者が負担）がかかるので苦慮している。

私ども石川県薬剤師研修センターの真の目的は、会員の皆様をはじめすべての薬剤師の自発的な生涯学習を支援することである。本会本部や支部、あるいは他の団体が実施する研修会や学会に一人でも多くの薬剤師が参加されることを切に望んでいます。研修会で受領した研修シールそのものが皆様の学習を証明しています。



## 能登万葉の里マラソンでの惨敗

石川県薬剤師会 会長 中 森 慶 滋

中森です。

3月12日火曜日の夜、自分の足を見て驚いた。無数の赤い点々が両足の太ももとふくらはぎに広がっているのだ。一瞬なんかの皮膚病にかかったのかと思ったのだが、そのような状態になっているとは思ってもいなかった原因があることを思い出した。原因は僕にあったのである。

3月10日の日曜日、僕は七尾の和倉温泉にいた。能登万葉の里マラソンに出場するためである。前日に温泉宿に入り簡単にアルコール抜きで食事をしたあと風呂に入り就寝した。翌朝6時に起きると能登島にかかる橋はオレンジ色の美しい朝焼けに染まっていた。この橋をついに僕は渡ることができるのだと思うと不安が若干よぎる中うれしさと期待の気持ちに包まれた。9時ごろロビーに降りると様々なランナーがたむろしていた。みなこの旅館に宿泊し今日に備えていたのだ。スタート位置まで歩いていく。アップをしている人、楽しそうに歓談している人、すがすがしい朝の光に包まれてこの日が始まったという事実の喜びにあふれていた。



旅館に帰り出走するウエアを身に着け再びスタート地点に行きFグループの集団に

スタートラインに向かう！  
がんばるぞ！



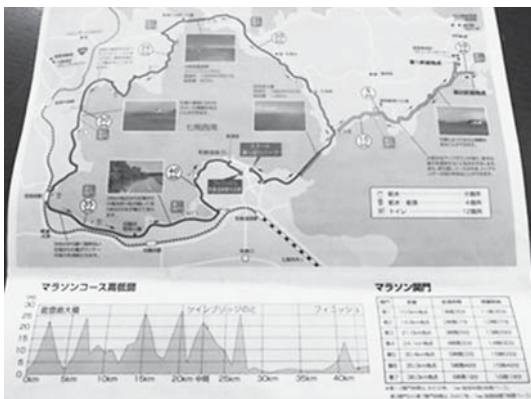
紛れ込んだ。5時間台という設定の集団だ。僕はだいたいの計画を立てていた。まず4時間台のスピードでできればハーフあたりまで行けるところまで行く。それは6分30秒台（1 km）ということになる。もちろん5時間を超えることは想定内で7分07秒から5時間台に突入する。その前後で踏みとどまり7分30秒までペースを落として最終的に5時間30分ぐらいでゴールする。これは十分可能性のある計画であるが、その後思わぬ気力と体力の低下を考えても5時間台での完走は目指せるものと考えた。

スターターを七尾市長が務める。ピストルが会場に鳴り響く。開始だ。スタートラインまでFグループはしばらく歩いて進んでいく。みな楽しそうだ。120位までは記念品が別にもらえるという「昨年の結果から換算して3時間10分程度です、皆さん頑張ってください。」とアナウンスがされる。Fグループではどよめきが起こる。誰一人としてそのような時間は無理と分かっているからである。スタート地点を通過する。



時計をセットしウオークマンからベーターの第9をかける。スタートだ。走り始めはいつも苦しい、しかし2-3kmでその苦しみはなくなっていくことを知っているのだから焦らずペースができていくことを待った。橋を渡る、ついに僕はこの橋をランナーとして走っているのだと喜びの感情に支配される。順調だ、時計は6分32-34秒を前後している。5kmを通過。折り返し10kmあたりで第九合唱のクライマックスが聞こえてくる。他人がどう思うかなど考えずに僕は両手を広げ「ウオー」と叫ぶ。

しかし坂がきつい。極端な高低差を登り下りするのだ。登るときは比較的僕のフォームが悪いせいかわかりませんがそれほど苦ではないのだが、それが何度も何度も目の前に現れると次第につらくなっていく。登りよりも下りの方がきつい。足に変な負担がかかってくるのがわかる。25mの高低差を2km程度で走り抜けなければならない。これがコースの中で12本も続くという心臓破りの設定となっている。しかしペースは相変わらず6分34秒程度を刻んでいた。



3つ目の坂を上り切った時、足の付け根に違和感を感じる。なんだかおかしい。坂を下りるのに負荷がかかっているのだ。立ち止まり足を押さえる。痙攣しそうになる

のがわかる。これはどういうことなのだろうと考える。初めての身体症状に不安を覚える。17kmを過ぎたとき、太ももが硬くなり痙攣をおこした。あまりの痛さに路肩に坐り足をさする。それでもよくなる。そのうちふくらはぎも痙攣した。激痛が走りのたうち回る。それを見かねたのか後続のランナーから声をかけられる。「足をつりましたか、ちょっと過激ですが針で刺すと和らぎますよ」といい、自分のゼッケンを停めていた完全ピンを外して僕にくれた。「これでさしてみてください。」という。刺してみると確かに痙攣は収まってくるような気がした。ひたすら自分でマッサージをし針を刺したらなんとか歩けるようになった。

しばらく歩いてから再び走り出した。それでも足は戻ったわけではなく時々痙攣を繰り返してくる。そのたびに路肩に坐り針を左右四つの筋肉に刺しつづけた。その後どうやって25kmの救護所までたどり着いたのか覚えていないのだが、それは歩くよりもはるかに遅いスピードであった。その時は左の背中が痙攣するようになっていた。救護所に行くとするで4-5人の壮健なランナーが毛布をかぶっていた。みな足をつったのであろうか。

「足をつりました」といいテントに入っていく。椅子を差し出されストーブの横で温まる。僕は自分で足をさすりマッサージをし続け、安全ピンで足をさしつづけた。筋肉のけいれんと比べたら針の痛さなんて無いに等しいのだ。ちょっとだけ足全体が和らぎ始めた。歩けるかもしれないと思う。「あと17kmか。」完走は無理だなと思う。32kmでも37kmでも行けるころまで行こうと思う。この32kmと37kmというのはどこから出てきたのかわからないの

だが、その時思ったのはその数字であった。

意を決し僕は手負いの動物のように歩き始めた。タイムはどんどん進んでいる。全く走れない、足をあげることができないのだ。時々痙攣の波が襲ってくる。でも歩けるのではないかと思う。前へ進める！！。調子が出てきたところで走ろうとすると再び痙攣発作に襲われる。

何度もアップダウンを繰り返し平坦なコースにまでたどり着いた。体力と気力はある。「走りたい。走りたい。」と思いつけるのだが走ることができない。しかし早歩きはできるようになってきた。ある時ゆっくり走っている人を抜き去るくらいには回復していた。しかし敗残者としての絶望感に包まれていた。

どこからバスに乗せられるのだろうかかと計算してみた。計算違いではないだろうかと思った。救護所で休み、路肩で寝転がっていて、そして今歩いている。何度も何度も冷静になれと言いつけさせ今のペースで残っている距離を走った場合のゴール時間を計算した。その時間6時間45分。「制限時間7時間に間に合うかもしれない！！」と思う。しかし痙攣に襲われなければの話だと、まだまだ喜ぶのは早いと戒める。少しずつ歩みを進めようと思う。

手負いのランナーである僕は時々歩いている人を抜いていった。最後の12番目の坂に差し掛かる。足の痛みはピークに達しホントにこれはきついと思う。それでも僕は歩き続けた、お前は薬剤師会の全国大会で言ったではないか「いまをいきろ」そして「少しでも前へ」と心の中で叫び続ける。温泉街が見えてきた。係員から「もう少し頑張れ」と声をかけられる。そこで走り出したいのだが足が上がらない。肉離れを

おこしているのかもしれないと思う。そんなこと今考えも仕方がないではないかと思う。頭の中にはロサンゼルスオリンピックの女子マラソンを思い出す。アンデルセンだろうか、最後までゴールを目指している映像が頭の中に広がる。中山竹通は瀬古に這ってでも出てこいといった。

前に老人のランナーがゴールを目指しているのが見えた。

ゴールが見えてきた。ゼッケンから割り出した一人一人の名前を言い〇〇さんあと少しです頑張ってくださいと言っているのが聞こえる。最後ぐらい走りたいと思うのだが足が上がらない。情けないと思う。人生の落伍者だと思う。世界中をすべて敵に回しているような感じた。それでもあとすこしと歩き続ける。ゴール付近に大きなデジタル時計が設置してある。6時間49分。間に合ったと思う。しかし喜びはない。ただこのコースに規定された制限時間に間に合ったというだけなのだ。僕は負けた。僕は敗北感に支配されていた。

完走証をもらった時家内が駆け寄ってきた。「良かった良かった完走したね、すごいすごい」と言われる。体力も走ろうと気力もまだまだ残っていて燃焼し尽くしたという感覚を持たないで呆然としていた僕にそう言われ。完走はしたんだ。それがせめてもの救いかもと思った。

息子たちもwebで僕の通過時間を追っていたようである。順調に5kmを30分と少しで進んでいたところ20kmの通過がなかなか出てこないのも何かアクシデントがあったと思ったそうだ。それからの5kmは歩くより遅いスピードで移動しているので制限時間を気にしだす。35kmの通過時間が何かの手違いなかなか表示されなかった。その時点で完走は無理だと思った

らしい。しかし40kmの通過と同時に35km通過時間も表示されたとき家内は泣いたという。あきらめずに歩き続けていたことがわかったからだ。そして完走した。後で携帯を見てみるとおめでとうというスタンプが家族から送られてきていた。

危惧した肉離れなど足の障害はなく3日目からは普通に階段を降りれるようになった。今は全く正常な状態に戻っている。マラソンが終わった翌日足の痛みがピークを迎えているのにも関わらず5月のハーフマラソンに登録した。そして秋の金沢マラソンに絶対出たいと思った。

能登の水田が広がりどかな風景の中を歩いているときいろんなことを考え続けた、そしていろんなことを思い続けた。その時電車が脇を通った。電車の乗客が僕を見て「あのランナー実力もないのに出場したから歩いているね」と思っているのだと。二日後の夜、自分の足に針を刺した痕を見て涙が出てきた。僕はこんなにまでして走りたかったんだと。

そして考えたのである。「このままでは終われない」

マラソンを走って思ったことがある。今回のマラソンの目標設定は5時間30分を切ること。それよりも遅ければ負けで30分を切っていれば勝利という自分だけの目標であった。結果は6時間49分の惨敗。もし目標を完走に置いていたならば僕は達成感と喜びに溢れていたであろう。これって人生の縮図ではないだろうか。

世界の幸福度調査が行われ日本のランキングがテレビで発表されていたが、幸福かそうではないかは結局のところその人の設定にあるのではないだろうかと思うのである。世界のトップ選手は目標を2時間と一けた台に置くだろう。そんな人生を設定し

ていない僕はささやかな5時間30分。これは大金持ちになるのではなくふつうに生きればそれでいいという人生。その中で本を読み音楽を聴き旅行に行き海に入り異文化に触れる。その設定を自分で間違えないようにするのが人生なのだ。

一度は完走すらあきらめたものの、思い直し歩き続けかろうじてゴールした。挫折をしてそれから再び歩き始めたのも人生のようだ。5時間30分の目標は次にとっておこうと思うことができたのも、ひょっとしたら幸運なのかもしれない。

ジムに行きマラソンの終盤に僕が歩き続けた時と同じ9分台にトレッドミルを設定して歩いてみた。僕は動揺した。速いのである。早歩きどころか日常生活では決して歩かない速いスピードだ。

僕はゴールを目指し再び歩き出したときの気持ちを、一生の宝として胸に刻んでおこうと思ったのである。

2019年10月27日に開催される金沢マラソンに  
当選しました。

測定ポイント	スプリット	ラップ	通過時刻
Start	00:02:40		10:02:41
5km	00:35:16	0:32:36	10:35:17
10km	01:08:24	0:33:08	11:08:25
15km	01:44:16	0:35:52	11:44:17
20km	02:26:53	0:42:37	12:26:54
25km	03:28:31	1:01:38	13:28:32
30km	04:40:41	1:12:10	14:40:42
35km	05:34:19	0:53:38	15:34:20
40km	06:25:47	0:51:28	16:25:48
Finish	06:49:04	0:23:17	16:49:05

JAPAN SPORT  
COUNCIL  
日本スポーツ振興センター

**守りたい  
大切な子どもたち**

**学校での事故は  
年間100万件以上発生しています!  
知って、防ごう、学校事故**

事事故例や学校安全啓発資料はコチラ!

学校安全Web

QRコードからも  
アクセス可能です

独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部  
URL:<http://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

## 原稿を募集しています。

- ◇「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものにしたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。
- ◇テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或はマンガ、イラスト、カット、写真等々何んでも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。
- ◇用紙や宛先等は下記のとおりです。  
用紙：400字詰原稿用紙又はハガキ  
メ切：特に設けていませんいつでもどうぞ  
宛先：金沢市広岡町イ25-10  
公益社団法人石川県薬剤師会内

その他：採否は編集係におまかせください。なお、いただいた原稿はお返しできませんのでご了承ください。

「県薬レポート」編集委員会  
委員：中森 慶滋、三浦 智子、西上 潤  
橋本 昌子、山崎 敏誉、吉藤 茂行  
石川県薬剤師会ホームページのURL  
<http://www.ishikawakenyaku.com/>  
会員専用パスワード  
ID:ipa01 password:ipa01(いずれも半角入力)  
eメール・アドレス  
[kenyaku@plaza-woo.jp](mailto:kenyaku@plaza-woo.jp)